

「NIE」実践 県内5校指定

全国で554校

日本新聞協会は11日、教育現場で新聞を活用する「NIE」(教育に新聞を)の2012年度実践指定校に、県内5校を含む全国554校を決定した。そのうち先進的な取り組みをしている学校が選ばれる「奨励枠」は県内2校を含め、20都道府県の51校を認定した。

県内からはコザ小、中原小、沖縄アミックスインターナショナルの3校が通常枠、小緑南小と越来小が奨励枠の指定を受けた。実践期間は原則2年間(奨励枠は1年間)。授業などで新聞を活用してもらうため、一定期間の購読料を協会と各新聞社が補助する。

また、10年6月に始まった琉球新報社と沖縄タイムス社による県指定校には、12年度は大里中、豊見城中、浜川小、伊平屋小、伊野田小の5校が選ばれた。NIE全国大会は30、31の両日、福井市で開かれる。